

特別講義のお知らせ

八重山と台湾 国境地域で暮らす人びと

講師：松田良孝氏

12月10日（金）13時～14時30分
北方キャンパス本館 C202

現在では国境線に隔てられた八重山と台湾。両地域に住み、往来し、国境がなかった時代から現在にいたるまでの八重山と台湾のつながりを探求してきたジャーナリストが「国境に暮らす人びと」を語ります。八重山がどこにあるのか知らない人も受講歓迎。

講師プロフィール

北海道大学卒。十勝毎日新聞、八重山毎日新聞を経て、現在はフリーランスジャーナリスト。2019年台湾政府外交部フェロー。法政大学沖縄文化研究所客員研究員。「沖縄タイムス」「八重山毎日新聞」の台湾通信員。台湾の沖縄県人会会員。主な取材テーマは、八重山台湾関係、沖縄台湾関係。八重山での生活歴20年以上。「内なる国境」に注目し、石垣在住フィリピンコミュニティも取材。伝統祭祀、228事件、牡丹社事件、沖縄からの疎開地となった農村部への訪問など台湾の現地取材でも沖縄にこだわる。「AERA」やnippon.comに寄稿。著書に『八重山の台湾人』、『台湾疎開』、『与那国台湾往来記』（いずれも南山舎）、共著に『石垣島で台湾を歩く：もうひとつの沖縄ガイド』（沖縄タイムス社）。第40回新沖縄文学賞受賞作品の小説『インターフォン』（同）。与那国島一周マラソン完走。猫が好き。

注意事項：撮影・録音録画は固く禁じます。
参加者は学内の新型コロナ感染予防対策に従ってください。

お申込み

「現代中国の外交」の受講者は申し込み不要。教室がコロナ定員のため、受講者以外の方は外国語学部国際関係学科・下野まで事前連絡してください。
連絡先：hskshim☆kitakyu-u.ac.jp（☆を@に変える）

